

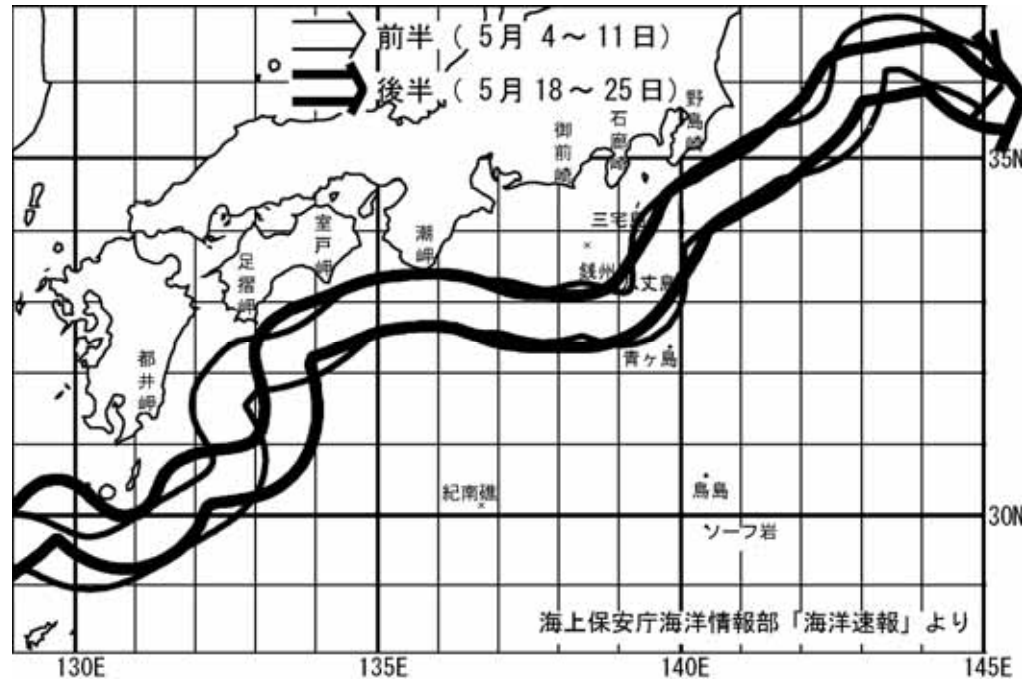
漁海況月報

平成26年 5月 1日

No. 5

~5月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



5月定地水温の旬平均値() (下段は平年偏差)

| 期間 | 伊東 | 稲取 | 下田 | 雲見 | 沼津 | 焼津 | 地頭方 |
|----|------|------|------|------|------|------|------|
| 上旬 | 16.7 | 17.2 | 17.3 | 17.0 | 18.3 | 17.4 | 17.0 |
| | -0.3 | 0.5 | 0.4 | -0.8 | -0.1 | -0.1 | -0.2 |
| 中旬 | 18.0 | 17.7 | 17.7 | 18.1 | 19.1 | 18.2 | 17.4 |
| | 0.1 | 0.3 | 0.1 | -0.5 | 0.2 | -0.2 | -0.7 |
| 下旬 | 18.8 | 18.3 | 18.7 | 18.6 | 20.0 | 19.1 | 18.6 |
| | -0.1 | 0.5 | 0.2 | -0.8 | 0.4 | -0.1 | -0.5 |
| 月 | 17.8 | 17.9 | 18.0 | 17.9 | 19.1 | 18.4 | 17.7 |
| | -0.1 | 0.4 | 0.3 | -0.7 | 0.2 | 0.0 | -0.5 |

【黒潮流路】

前半の黒潮は、潮岬で接岸した後、遠州灘沖を南東に進み、八丈島付近を通過した。その後、北東方向に進み三宅島の南を通過して房総半島沖へ流れた。後半は、都井岬沖で離岸し足摺岬~潮岬で接岸した。潮岬を通過後は、前半と概ね同様の流路で流れた。

【県下沿岸域】

相模湾側では、月を通じて「平年並」で推移した。駿河湾では、雲見と地頭方では「平年並み」~「やや低め」、その他では「平年並み」であった。

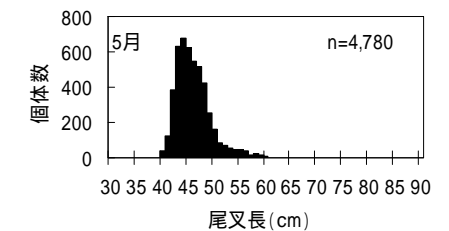
【竿釣カツオ】

5月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオ(近海竿釣り船+沿岸竿釣り船)の水揚量は178トンで前年同期の78%であった。このうち近海竿釣り船の水揚量は53トンで前年同期の57%であった。魚価は382円/kgで、前年同期を上回った。

水揚げの主体となった沿岸竿釣り船は、30~32°N、138~140°Eの伊豆諸島海域で小(尾叉長44cmモード)のカツオを漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量(近海船+沿岸船、県内主要5港)

| 期間 | 水揚量(ト) | 水揚隻数 | 水揚/隻(ト) | 平均単価(円/kg) |
|---------|--------|------|---------|------------|
| 26年5月上旬 | 67 | 9 | 7.5 | 360 |
| 中旬 | 53 | 13 | 4.1 | 416 |
| 下旬 | 58 | 16 | 3.6 | 376 |
| 26年5月計 | 178 | 38 | 4.7 | 382 |
| 25年5月計 | 228 | 46 | 5.0 | 299 |
| 24年5月計 | 210 | 61 | 3.4 | 470 |



御前崎港における測定結果

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は609トンで前年の同漁場の水揚量(851トン)の0.7倍となった。また、1か統あたりの水揚量は87.0トンで前年(121.6トン)の0.7倍、平年(昭和57~平成25年の平均72.4トン)の1.2倍となった。

魚種別の漁獲量をみるとブリ、サバ類、カタクチイワシの順に多かった。

ブリはワラサ主体で川奈、古網、伊豆山漁場に集中した。さば類は川奈、赤沢漁場で多く、ゴマサバ主体であった。カタクチイワシは伊豆山、赤沢、古網漁場で大半を占めた。マイワシは古網、伊豆山、赤沢漁場に集中し、マアジは川奈漁場で大半を占めた。

漁場別の漁獲量では、川奈漁場が172トン(ブリ、サバ類、マアジなど)、古網漁場が120トン(ブリ、カタクチイワシ、さば類など)、伊豆山漁場が112トン(ブリ、カタクチイワシ、さば類)の順に多かった。

<参考表> 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

| 魚種 | 漁獲量(トン) | 前年比 | 平年比 | 主な漁場 |
|---------|---------|-------|-----|-----------|
| ブリ | 196.8 | 2.0 | 5.7 | 川奈、古網、伊豆山 |
| さば類 | 173.7 | 1.2 | 1.4 | 川奈、赤沢、富戸 |
| カタクチイワシ | 115.6 | 1.1 | 2.7 | 伊豆山、赤沢、古網 |
| マイワシ | 36.3 | 116.8 | 1.8 | 古網、伊豆山、赤沢 |
| マアジ | 29.6 | 0.4 | 0.2 | 川奈、富戸、古網 |

[サバたもすくい・棒受網]

5月には小川港にはマサバ226トン(前年同月比318%)、ゴマサバ599トン(前年同月比85%)が水揚げされた。1隻あたり水揚量はマサバ5.9トン(前年同月比311%)、ゴマサバ15.8トン(前年同月比83%)であった。1kgあたり平均単価は、マサバが187円であり前月(215円)を下回ったが、前年同月(93円)を上回った。ゴマサバが92円で前月(105円)を下回ったが、前年同月(75円)を上回った。

たもすくい網は、マサバ主体で、上旬は三本、三宅で、中旬は三本、三宅、大室だしで操業した。棒受網はゴマサバ主体で、上旬から下旬にかけて三本、三宅で操業した。

マサバは33~34cmにモードを持つ4歳魚主体、ゴマサバは25cmにモードを持つ1歳魚主体であった。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

| 期 間 | 水揚量(トン) | | 水揚 日数 | 水揚 隻数 | 水揚/隻(トン) | | 単価(円/kg) | | 漁 場 |
|---------|---------|------|----------|----------|----------|------|----------|------|------------|
| | マサバ | ゴマサバ | | | マサバ | ゴマサバ | マサバ | ゴマサバ | |
| 26年5月上旬 | 37 | 174 | 3 | 10 | 3.7 | 17.3 | 214 | 95 | 三本 三宅 |
| 中旬 | 187 | 245 | 7 | 22 | 8.5 | 11.1 | 182 | 91 | 大室だし、三本、三宅 |
| 下旬 | 2 | 181 | 2 | 6 | 0.3 | 30.1 | 111 | 90 | 三本、三宅 |
| 26年5月計 | 226 | 599 | 12 | 38 | 5.9 | 15.8 | 187 | 92 | |
| 25年5月計 | 71 | 705 | 16 | 37 | 1.9 | 19.0 | 93 | 75 | 三本、三宅 |
| 24年5月計 | 185 | 666 | 17 | 45 | 4.1 | 14.8 | 103 | 46 | 大室だし、三本、三宅 |

水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

5月の出漁日数は9日で、水揚量は484トンと前年同月を107トン下回った。漁場は主に田子の浦港~蒲原沖と焼津~大井川沖に形成された。水揚げされたサクラエビは、体長34mmにモードを持つ0歳エビと40mmにモードをもつ1歳エビで、0歳エビが主体であった。

サクラエビ水揚げ量

| 期 間 | 水揚量 (トン) | 日数 | 1日1か統当り (kg) | 漁場 |
|-----------|-------------|----|-----------------|-----------------|
| 平成26年5月上旬 | 84 | 2 | 平均 700 | 田子の浦港~蒲原、焼津~大井川 |
| 中旬 | 202 | 4 | 平均 842 | 田子の浦港~蒲原、焼津~大井川 |
| 下旬 | 198 | 3 | 平均 1,100 | 由比~蒲原、焼津~大井川 |
| 平成26年5月計 | 484 | 9 | 平均 896 | 田子の浦港~蒲原、焼津~大井川 |
| 平成25年5月計 | 591 | 15 | 平均 657 | 田子の浦~清水沖、大井川沖 |
| 平成24年5月計 | 709 | 12 | 平均 985 | 富士川~大井川沖 |

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が798kg、遠州灘が1,118kgでともに好調であった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量1,014kgは前年同期(924kg)の110%、平年同期(過去5か年平均:487kg)の208%であった。漁獲物の主体はカタクチイワシシラスと推定され、総水揚量は2,618トンで前年同期(2,149トン)の122%、平年同期(1,044トン)の251%と前年同期、平年同期を上回った。

また、春季のマイワシシラス漁が低調になった平成元年以降、平成8年(3,763トン)に次いで2番目の高水準となった。一方、平均単価は292円/kgと平年同期(565円/kg)の52%と低調であった。

シラス水揚量(主要6港)

| 漁 港 | 水揚量(トン) | 延日数 | 延統数 | 平均漁獲量(kg/統) | 平均単価(円/kg) |
|----------|---------|-----|-------|-------------|------------|
| 新 居 | 265 | 19 | 247 | 1,075 | 239 |
| 舞 阪 | 903 | 19 | 870 | 1,038 | 265 |
| 福 田 | 624 | 18 | 478 | 1,306 | 265 |
| 御前崎 | 161 | 14 | 153 | 1,052 | 282 |
| 吉 田 | 419 | 19 | 453 | 924 | 341 |
| 静 岡 | 246 | 19 | 380 | 647 | 433 |
| 平成26年5月計 | 2,618 | 108 | 2,581 | 1,014 | 292 |
| 平成25年5月計 | 2,149 | 100 | 2,327 | 924 | 226 |
| 平成24年5月計 | 357 | 71 | 1,553 | 230 | 933 |

各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

平年同期:過去5か年(2009~2013年)平均値

[まき網]

小川港におけるマイワシの水揚げは24.5トンで、平年同期(14.8トン)の165%と増加した。

沼津港でもマイワシが177.2トンの水揚げで平年同期(98.8トン)の179%と増加したが、カタクチイワシの水揚げは5.2トンで平年同期(14.9トン)の35%と減少した。

静浦港ではマイワシの水揚げはなく(平年同期14.7トン)、カタクチイワシは3.3トンで、平年同期(165.9トン)の2%と減少した。

伊東港におけるマイワシの水揚げは65.4トンで、平年同期0.2トンの327倍と増加したが、カタクチイワシの水揚げは20.9トンで、平年同期150.9トンの14%と減少した。

平年同期:過去5か年(2008~2012年)の平均値

[調査船駿河丸の動向]

| | | |
|---------------|-------------------------|-------|
| 5月1日 ~ 5月2日 | 地先定点観測調査及び沿岸域海況調査 | (2日間) |
| 5月7日 ~ 5月9日 | 地先定点観測調査及びカツオ魚群分布調査 | (3日間) |
| 5月13日 ~ 5月14日 | さば類用撒餌(ソルブル)釣獲試験、標識放流調査 | (2日間) |
| 5月19日 ~ 5月23日 | カツオ魚群分布調査 | (5日間) |
| 5月28日 ~ 5月29日 | ハダカイワシ資源化(MOHT)調査 | (2日間) |

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

